

## 平成 19 年度兵庫県立学校教員の長期社会体験研修を終えて

兵庫県立新宮高等学校 教諭 河西和美

### 1 研修先

医療法人伯鳳会 赤穂中央病院 産婦人科病棟  
(赤穂市惣門町 52-6)

### 2 研修先の概要

昭和 37 年 2 月設立、外来数 1 日 700~900 名  
許可病床数 265 床、職員数約 400 名  
最新医療設備を備える地域に開かれた病院

### 3 研修期間

平成 19 年 7 月 23 日~8 月 3 日 (2 週間)

### 4 研修内容

#### A 外来にて

妊婦健診、母親学級、妊婦エアロビクス、1 歳児誕生会

#### B 病棟にて

- ①妊娠週数に応じた看護診査 (レオポルド触診法、腹囲・子宮底測定、ノンストレステスト)
- ②分娩の援助 (分娩監視装置の装着、陣痛・胎児心音測定、胎盤観察、カンガルーケアなど)
- ③帝王切開分娩と術後の管理 (手術室にて帝王切開分娩見学)
- ④産褥期の看護 (後陣痛・子宮復古状態の観察、悪露の観察、乳房の観察など)
- ⑤新生児の看護 (出生直後の計測・処置、黄疸測定法、先天性代謝異常検査、沐浴法など)
- ⑥保健指導 (授乳指導、調乳指導、沐浴指導、小児科退院指導など)

### 5 研修を終えて

2 週間という短い期間でしたが、産婦人科医療の現場で、最新の医療技術や看護の実際を多く学ぶことができ、非常に有意義な毎日となりました。

人の命をないがしろにした事件が絶えない昨今ですが、この研修を通して、陣痛に耐えながら必死の思いで出産に臨む母親、新しい環境の中で懸命に生きようとしている新生児、そして暖かいまなざしで生命誕生を見守る家族らに出会い、人間ひとりひとりの命の重さを改めて強く感じました。

また、母子双方の安全な出産を目指し、そして新しい生命を守るために医師・助産師・看護師等、産婦人科スタッフが全力を挙げて取り組んでおられる姿に強く心を打たれ、看護科教員としてどうあるべきか、自らを振り返るよい機会となりました。

今回の研修を通して得た貴重な学びを、今後の看護科における教育指導にぜひ活かしていきたいと考えます。



赤穂中央病院全景 (伯鳳会パンフレットより)